

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和4年4月16日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令基準の1人あたり2.47㎡以上は確保されており、適切だと思います。	余裕のある空間設定となっておりますが、常に整理整頓を心がけ、少しでも広くスペースを確保できるように努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切である	○		国が定めた配置基準人数以上の職員数を十分に配し、適切に対応させていただいており、適切だと思います。	今後も、適切な人員を配置・確保して運営してまいります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		気が散りにくくするため活動内容とその活動場所を一つの活動につき1箇所と定め、混乱しないように設定しております。勉強するときは机で、集団活動では家具を端に片付け、広くスペースを空けて活動しやすくするなど、活動によって場面設定をするなどの工夫をしています。	現在車椅子を利用する児童の在籍がなく、事業所は基本的に段差は少ない構造です。利用児童一人ひとりの特性に応じた環境づくり・配慮並びに安全対策の面から今後も見直しや改善は常に行っていきたいと思っております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		従業員全員で目標設定と振り返りを話し合い、業務改善に取り組んでいます。	今後も同様にPDCAサイクルによる業務改善に全職員で努めてまいります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回が初めてなので、ご意向を把握し業務改善に努めてまいります。	保護者様からのアンケートを踏まえ、良い事業所となるよう取り組んでまいります。また、保護者様からのご意見を頂戴しました際には職員全体で把握し、業務改善につなげてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価の結果はCOMPASS 発達支援センターの公式Webサイトに公開致します。	今後も、毎年Web上で自己評価表の公開をおこなってまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		新型コロナウイルス感染予防のため、現在、外部研修は控えておりますが、事業所内研修はできる限り定期的実施しております。	新型コロナウイルス収束の際は、外部研修にも積極的に参加し、研修機会を多くもち、職員の資質向上を図ってまいります。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		支援計画作成前に、アセスメントを実施し、定期的な保護者との面談により利用児童の状況や課題を確認し支援計画に反映しております。	今後も、適切な手順をふみ支援計画を作成してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		弊社で作成し、標準化されたアセスメントシートを使用し、保護者様へ契約時に聞き取りを実施し、職員で情報共有しております。モニタリング時も同様に、再度聞き取りを実施しております。	アセスメントシートを活用し、保護者様のご意向を職員で共有し、常に話し合いを行っております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっています。その立案に対しては、日々話し合いをもち、改善・より良い支援提供に努めています。	今後もよりよい支援の提供ができるよう、チームでの立案に努めます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節を取り入れた制作や行事、また、個別療育以外の小集団での療育等、利用児童の状況に合わせた日々の内容・支援をおこなっています。またCOMPASSの系列事業所との情報共有や専門職の手法等、多彩な趣向を凝らした支援をおこなっています。	今後も活動が固定化しないよう、一人ひとりの状況に応じた支援に努め、その内容が利用児童に反映され保護者様に伝わるように配慮してまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個別支援計画を元に従業員で話し合い支援している。長期休暇時は作業等、作成に取り組んだりしております。	今後も個々の状況・平日休日利用の違いに合わせて課題を設定し丁寧な支援を心がけてまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		一人ひとりの特性に合わせた内容を組み、それに応じて個別活動、集団活動を適宜組み合わせています。これらを個別支援計画に組み込んで作成しております。	今後も同様に、適切な支援計画を作成してまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝会にて打合せ、一日の流れ等を全職員が把握し、取り組んでおります。その日の担当児童のみならず、利用児童全員に対して共通理解と支援にあたることのできるよう情報提供に努めています。	今後も支援するにあたり、重要な時間と位置付け、時間を惜しまず、情報共有と理解の一致に努めてまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		一人ひとりのその日の支援に対し、成功点・工夫・気になる点等を出し、次回利用時の支援につなげています。勤務時間・業務の都合により参加できない場合もあるので、伝えあいや連絡ノート等で工夫し、共有が出来るようにしています。	今後も、振り返り・情報共有を大事に日々実施してまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の療育内容・体調・生活状況の変化等の気づいた点も記録し、職員間・保護者様に報告しています。また、保護者様との連絡帳や口答での情報交換により、当日の利用児童の関する情報をいただくことで検証や改善につながっています。	今後も、適切かつ細やかな経過記録に努め、検証・改善につなげていきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリング・面談の実施にて、保護者様からのご要望を取り入れながら児童の状況把握・見直しをおこなっています。	今後も、事業所内での個別支援会議にて児童の状況を明確に保護者様にお伝えし、モニタリングや計画の見直しにより適切におこなえるように努めてまいります。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		利用児童の課題・保護者のご意向を基にガイドラインの示す活動を組み合わせ支援計画を練り、支援を行うよう努めています。	今後も、改善をしながらよりよい支援を行ってまいります。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童の状況等は職員全体で情報共有に努めております。児童だけでなく療育担当者も同席し、関係機関に対しても適切な情報共有ができるよう努めています。	今後も同様に、児童発達管理責任者を軸に、職員が参画していきます。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		関係機関とは送迎時や電話・メール等で連絡を取り合い、情報共有に努め、時間の変更等急な対応に関して教頭先生や担当窓口の先生等との連絡調整を行うよう心がけ、トラブル防止に努めています。	今後も関係機関との良好な関係と連携を心がけ、情報共有をしっかりと行い、トラブル防止に努めたいと思っております。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		コロナ禍で電話での対応も多いですが、必要時、児童の利用関係機関との情報共有の場を設け相互理解を深めています。	今後も、関係機関と連携し、支援計画内容の情報共有・相互理解を図ってまいります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		該当する児童がいないため、今年度はおこなっていません。	今後、該当する児童が通所の場合には、適切に対応するべく準備をしていきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		新型コロナウイルスの感染予防の観点から外部での研修等への参加は控えていただいております。	研修等への参加は、感染予防をふまえて今後の課題とします。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		新型コロナウイルスの感染予防の観点から外部での参加は控えていただいております。	コロナ収束後、保護者様のご意見もお聞きしたうえで、機会があれば是非交流を持ちたいと思っております。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		新型コロナウイルスの感染予防の観点から、外部での直接参加は控えていただいております。	コロナ禍においては、リモートで参加しております。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		通所・送迎時に保護者様からご相談いただくことがたくさんあり、園や自宅での様子をお話ししながら助言をおこなっています。また事業所からも気づいた点をお伝えすることで児童の状況や課題に気づき、共通理解につながっています。	今後も、保護者様との普段の何気ない会話や、児童の状況について話し合う機会を多くもち、気軽に相談していただけるよう、信頼関係を大切にしていきます。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ご相談をいただく中で、必要に応じた時間・面談を設け、状況に応じた助言に努めています。	今後も気軽に相談していただける信頼関係を大切にし、お困りごとに応じる対応力を職員全体で身に付けていきます。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、機関と連携等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約時には、丁寧に読み合わせ、解りやすい説明に努めています。	今後も丁寧な説明に努め、理解されたかの再度の確認も改めて行ってまいります。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からの子育てに関する質問やお悩みに関しては随時丁寧にお聞きし、対応に努めています。	今後も保護者様のお気持ちに寄り添い応じてまいります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		現在コロナ禍にあるため、残念ながら開催出来ておらず、保護者様同士の「横の繋がり」をより深められるように努めてまいります。	子育ての情報交換の場としても大いに利用していただける事業所でありたいと考え、状況が改善されれば、万全の準備をして皆様をお待ちいたします。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に対して周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者様からの苦情はいつでも対応できる態勢は整えています。保護者様からの申し出の内容は、迅速な対応を心がけ、職員間で共有し、話し合い、その結果も周知しています。	解決に向け、職員で話し合い、上席にも報告をいれ、最速な対応をするように心がけています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、事業所発行の会報を発行し、活動概要や行事予定をご案内しています。また各事業所での活動を公式Webサイトに公開し、毎日の情報更新は登録の「LINE公式アカウント」を通じてご紹介しています。	今後も事業所からのお便りや、ブログその他のSNSで新鮮な情報を発信していきます。
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報は鍵付き書庫にて保管しており、取り扱いは厳格に管理しています。	個人情報は今後も同様に管理していきます。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく、書面や提示物等のできる限りの手段を活用して、情報伝達に配慮しています。	今後も一つの方法にこだわらず改善を重ね、意思疎通・情報伝達がより正確にしっかりと伝わるように手段を増やしていくよう配慮してまいります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		新型コロナウイルス等の感染予防・個人情報保護の観点から地域交流は控えていただいております。	今後も利用児童の皆さまを第一に考えて対応させていただきます。保護者様のご意向により、可能な範囲での取り組みを検討していきたいと思っております。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		玄関にマニュアルを設置しており、いつでも見ていただけるように取り組みしており、契約時にも説明しています。	今後も職員による周知と訓練に努めるとともに、全体での定期的なマニュアルの再認識もおこなっていきます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		いつ起きるかわからない災害に備えて訓練を実施しております。火災、風水害、地震、不審者対応と4回実施し、児童にも座学でのわかりやすい学習も提供しております。	今後も定期的に想定を変えた避難訓練を実施し、突発時の職員の対応力をつけ、非常災害の発生に備えてまいります。
非常時の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		コロナ禍のため、外部研修への参加は控えています。事業所内に定期的にマニュアルに沿った職員研修をおこない、適切な対応が保たれるように日々努めています。	今後も、職員同士の話し合い・対応の仕方等の研修機会を増やし、継続して虐待防止に努めてまいります。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前十分に説明し、説明が得られた上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約書類に身体拘束についての記載があり、生命・身体保護のためやむを得ずおこなう場合は、保護者様の同意を得て、支援計画へ必ず記載していきます。	身体拘束の必要性については随時検討を重ね、十分な協議を経て、了承いただいたうえで支援計画に記載するように致します。また、その場合もできる限り早期に改善・解決できるように支援し、保護者様に丁寧な説明と報告をいたします。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在、対象となる利用児童がいませんが、アレルギーのある児童については、保護者様よりアレルギー調査票にて確認し、アレルギー児童一覧を作成し、職員全体で把握して対応していきます。	今後も、対象児童が通所する場合は、それぞれの状況に応じて、慎重な対応をおこなってまいります。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットは些細なことでも記入することで、気づきと改善につながる大切なものだと位置付け、誰もが利用児童の安全のために事例集を作成しやすいうように、周知し作成しています。作成された事例は定期的に会議等で取り上げ話し合う機会を作り、危険予防に努めています。	今後も危険回避・危険予防の事例に努めてまいります。

○の「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。